



～地域と共に未来を拓く～

浴風会病院 医療連携ニュース

№64

発行元：浴風会病院 医療連携室 〒168-8535東京都杉並区高井戸西1-12-1

TEL 03-3332-6511(代表) FAX 03-5941-5275



浴風会病院における認知症相談について

精神科医長 梶浦 麻由

当院では週8コマの認知症相談の枠が設けられており、神経内科、精神科医がそれぞれ予約制で担当しています。

相談はご家族のほか、ケアマネージャーや地域包括支援センターのサービス担当者等、様々なケースがあり、認知症が疑われる方の介護者にあたる方からも相談をお受けしております。

患者様の認知症が疑われた頃から最近のご様子、認知症以外の病気の治療の経過などの現病歴から家族状況、お元気があった頃のご様子、生育歴など詳しくお話を伺います。

すでに認知症の診断がついて介護サービスを受けられ、病状が進行し介護負担が増えたために来院されるケースや、これから診断を受けて介護サービスを利用するために要介護度の申請をするので検査を受けたいといった内容の相談などが主ではありますが、中には高齢者の方の不眠や不安、うつ病など精神疾患が関与していると思われる相談も含まれます。

患者様の年齢は60歳代から90歳代後半まで幅広く、介護者の方が不安を抱いていたり、困惑されて来院されるケースも少なくありません。

認知症相談では認知症という病気についてわかりやすく説明し、ご家族など介護者の方に少しでも安心して頂けるように介護サービスなど公的支援についても情報を提供し、必要であれば当院の医療相談・支援室や地域の関係多職種とも適切に連携して、「相談に来てよかった」と思っただけの認知症相談を心がけています。

この認知症相談では、対象となる患者様の検査予約と検査結果をお話する初診日の予約をして終了ですが、ご本人、ご家族へ検査の結果を説明する際はできるだけわかりやすく、また疑問や不安が少しでも軽減できるようお話しすることが大切と考えています。

認知症相談の受付は当院1階にある医療相談・支援室で承ります。また、かかりつけの先生からの情報提供書やお薬手帳があるとより相談がスムーズです。

社会の高齢化や少子化、核家族化や女性の社会進出など社会構造の大きな変化に伴い認知症の患者様を支えるご家族の在り方も多種多様になっています。

当院認知症相談ではこれからもご家族の負担や不安が軽くなること、患者様が安心して安全な医療・介護サービスを受けられることを第一に、関係多職種と連携して取り組んでいきたいと考えています。

医療安全管理委員会の活動について

医療安全管理委員 立川 和則

浴風会病院の医療安全管理委員会では、適切な医療の提供に向け、医療の質、安全の向上に取り組む、医療事故の防止に努めています。

日々の医療を提供する中でさまざまな医療行為を行うことで予期せぬ事象が起きた場合には大小を問わず、必ず「インシデント・アクシデントレポート」の提出を行い、全部署からなる医療安全管理委員会においてそれぞれの事象についての検討を行い、再発防止策等を策定し、判定評価を行うことで再発防止に努めています。

医療安全管理委員会の取組みの大きな目的は医療事故防止が最大の目的であり、医療事故を防止するために職員全体を対象とした教育、研修等を定期的に企画開催することで、職員全体の意識の向上を図っています。

また、医療安全の一環として「患者サポート窓口」を開設し、外来通院時や入院等に対するご不安等いろいろな患者様の相談に対応しています。

浴風会病院では皆様が安心して医療が受けられますようこれからも常に医療の質、安全に配慮し医療事故防止に努めて参ります。

認知機能検査の紹介

臨床心理士 諸橋 光慧

当院では医師の指示のもと、臨床心理士が認知機能検査を行っています。認知機能検査では、認知症の中核症状である記憶や、注意機能、視空間認知機能など、さまざまな認知機能を評価します。結果は点数だけでなく、回答の内容や患者さんの態度・反応も詳細に検討することによって、認知症のタイプをある程度予測することもできます。また認知機能の評価は、診断の材料になるだけでなく、起こりうる生活機能の障害を予測したり、保たれている部分をいかに活用できるかを考えるなどして、支援の糸口をつかむことにも役立ちます。

この検査をするにあたって留意していることは、自尊心の低下や不安を少しでも和らげるために、接し方はもちろんのこと、“できなかった”と思うことのないよう、患者さんの回答への反応や受け答えに工夫しています。そして検査を受けて良かったと思えるように、患者さん一人ひとりに丁寧に向き合っています。



浴風会つながるフェスタ

10月20日（土）浴風会つながるフェスタ（旧介護フェア）が開催されました。浴風会病院においては、医療セミナー、絵本の読みきかせ、病院リハビリ室見学ツアーを行いました。また、当日は6階多目的ホールを開放して、ご来場の皆様に会内一の眺望をお楽しみいただきました。



医療セミナーにおける『脳卒中セミナー』（講師・伊藤院長）では、「発症後迅速な対応がいかに大切か分かり大変ためになった」などの感想をいただき、『認知症セミナー』（講師・古田医師）には100名を超える方々が参加されて認知症に対する関心の高さもうかがわれました。また、『排泄セミナー』（松下看護長）ではオムツの当て方を皆さんに分かりやすく実演しました。

また、認知症をテーマにした絵本の読みきかせは、スタッフの柔らかな語り口とあたたかな絵で大変好評をいただき、読み聞かせ終了後は、集ってくださった子どもたちと保護者の皆さんに絵本をプレゼントし大変喜ばれました。



平成30年度区西部認知症初期集中支援チーム情報交換会

浴風会病院認知症疾患医療センターでは、区西部初期集中支援チーム情報交換会を平成30年9月28日（中野サンプラザ）に開催しました。区西部医療圏内の認知症初期集中支援チームは、新宿区、中野区、杉並区の全区で活動を行っており、同じ認知症初期集中支援チームでも、チームの配置状況や活動内容に、それぞれの地域の特性がみられることから、初めて3区合同の情報交換会を企画しました。

今回は各区の認知症初期集中支援チームの担当者や区の認知症コーディネーター、各区の認知症疾患医療センターのメンバー、総勢22名の方にご参加いただきました。会議では、各区の取り組みの報告からその特徴を共有し、それぞれのチームの活動の振り返りと今後の活動に向けた情報交換をすることができました。ご参加いただいた方からは継続的な開催の希望や、問題の共有が図れてよかったなど、大変好評をいただきました。今後も認知症初期集中支援チームの活動内容をより深め発展させていくために、浴風会病院認知症疾患医療センターとしても様々な形でバックアップしていきたいと考えております。



外来担当医表

平成30年12月

・再診予約のある方：予約時間前に再来受付機へ診察券を通して下さい。
 ・初診または再診予約のない方：午前十一時までに初診受付へ直接お越し下さい。
 ・年末年始の12月29日(土)～1月3日(木)の6日間は休診とさせていただきます。

診療科		月	火	水	木	金	土
初診外来(内科)	午前	八田	泉本	伊藤	秋山	鈴木美紀	当番医
内科	午前	秋山★ 小出	伊藤院長★ 山岡 中川 渡邊★	八田★ 雨宮★ 小林★	吉田センター長★ 八田★ 坂本★ 内藤(認知症相談) 内藤(物忘れ外来)	伊藤院長★ 市岡★ 館野 加藤	
	午後	吉田センター長★ 雨宮 (認知症相談)	青木			加藤	
★…神経内科医							
神経内科	午前	吉田センター長	袖山				
循環器内科	午後		柴田		小出		
呼吸器内科	午前					中川	
代謝内科(糖尿病)	午後				福原		
精神科	午前	梶浦	古田 (認知症相談)	梶浦 (認知症相談)	古田	須貝	
	午後	古田 (認知症相談)	梶浦 須佐 須佐 (認知症相談)	須貝		須貝 (認知症相談・ もの忘れ外来)	
整形外科	午前	宮沢		宮沢		宮沢	
眼科	午前	酒井	酒井	酒井	酒井	酒井	
	午後	酒井 (検査)	酒井 (検査) (第2・第4のみ)	(手術)		酒井 (検査)	
歯科	午前	中野	中野		中野	中野	中野 (第1.3のみ)
	午後	中野	中野		中野	中野	

